

第5回補助26号線沿道地区街づくり懇談会 次 第

日 時：令和2年2月27日（木）18：30～
会 場：北沢タウンホール 12階 スカイサロン

1. 開会
2. 第4回街づくり懇談会の振り返り及び街づくりアンケート結果の報告
3. 沿道地区の将来像（案）について
4. 街づくりアドバイザーより 国土舘大学 寺内教授
5. 閉会

第5回
補助26号線沿道地区
街づくり懇談会

令和2年2月27日
世田谷区・目黒区

本日の流れ

1. 開会
2. 第4回街づくり懇談会の振り返り及び街づくりアンケート結果の報告
3. 沿道地区の将来像（案）について
4. 街づくりアドバイザーより
5. 閉会

2

第4回街づくり懇談会の振り返り及び 街づくりアンケート結果の報告

3

沿道地区の将来像（案）について

沿道地区の将来像（案）の考え方

計画上の
位置づけ

地区の
現況

住民等から
のご意見

将来像（案）

街づくり懇談会における検討の流れ

街の現状、
課題の検討

沿道地区の
将来像の検討

将来像の
実現化手法の
検討

沿道地区の将来像（案）

- ① 子どもから高齢者まで誰もが便利で暮らしやすい、静かで良好な住環境が形成されている
- ② 建物の不燃化、耐震化が進み、災害に強いまち並みが形成されている
- ③ 環境に優しい、うるおいのあるまち並みが形成されている
- ④ 誰もが移動しやすい、安全性と快適性に配慮した道路が整備されている

沿道地区の将来像（案）の考え方



将来像（案）

補助 2 6 号線沿道地区の計画上の位置づけ

世田谷区都市整備方針

- 都市計画道路事業による土地利用の変化に対応するため、**周辺の住宅地との調和を図りながら**、沿道の土地利用などを適切に誘導します。
- 特に特定整備路線や**延焼遮断帯**を構成する都市計画道路周辺の市街地については、事業の進捗に応じて、沿道市街地の**不燃化、耐震化**を進めます。

沿道地区の将来像（案）の考え方

計画上の
位置づけ

地区の
現況

住民等から
のご意見

将来像（案）

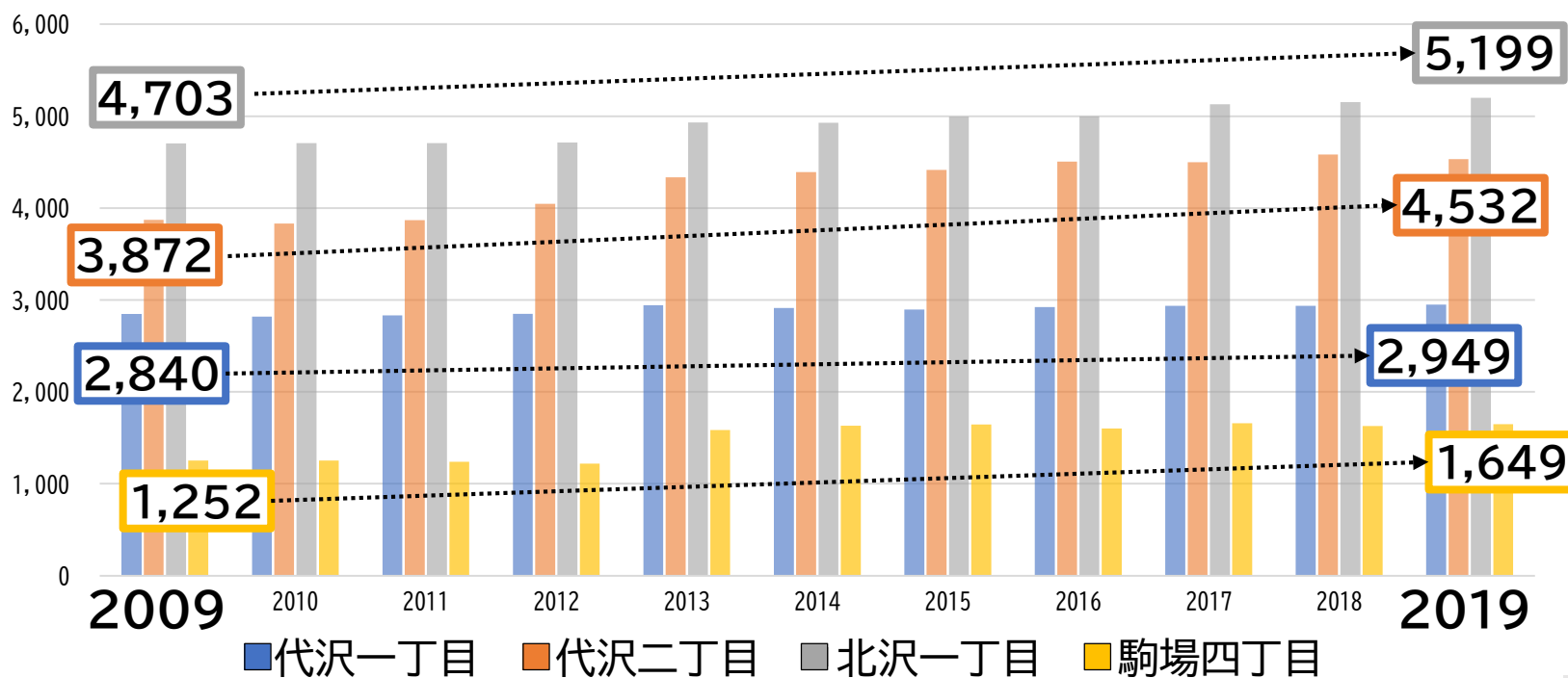
補助 2 6 号線沿道地区の現況

①誰もが便利で暮らしやすい

人口

● 10年前より増加しています。

[各年1月1日時点の人口の推移 (人)]



※各年の住民基本台帳より作成。

補助 2 6 号線沿道地区の現況

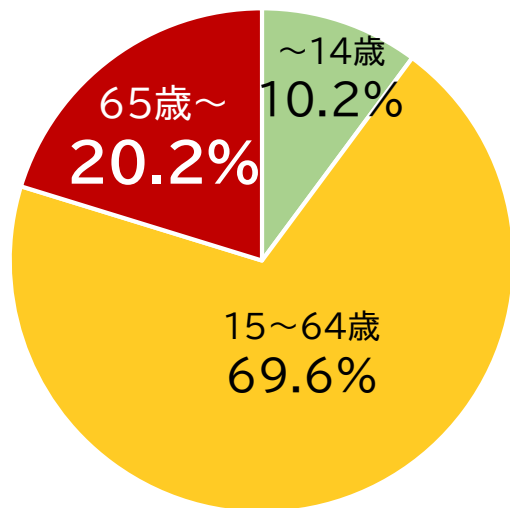
①誰もが便利で暮らしやすい

年齢階層別人口

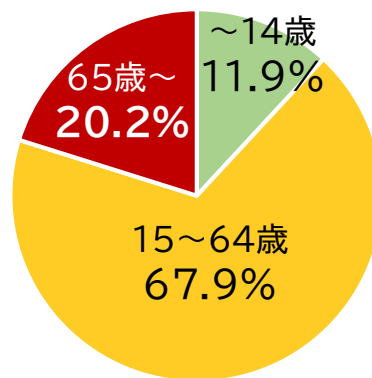
●高齢化率は、世田谷区全体・目黒区全体と同様です。

[平成31年1月1日時点の年齢階層別人口(%)]

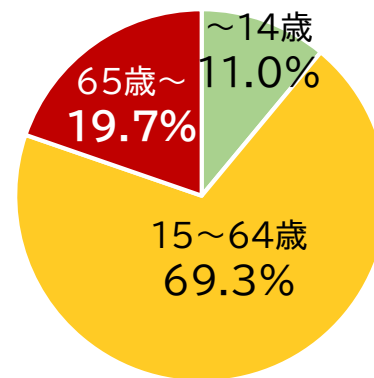
沿道地区の4町丁目合計



世田谷区全体



目黒区全体



■ 年少人口 (~14歳) ■ 生産年齢人口 (15~64歳) ■ 高齢者人口 (65歳~)




補助26号線沿道地区の現況

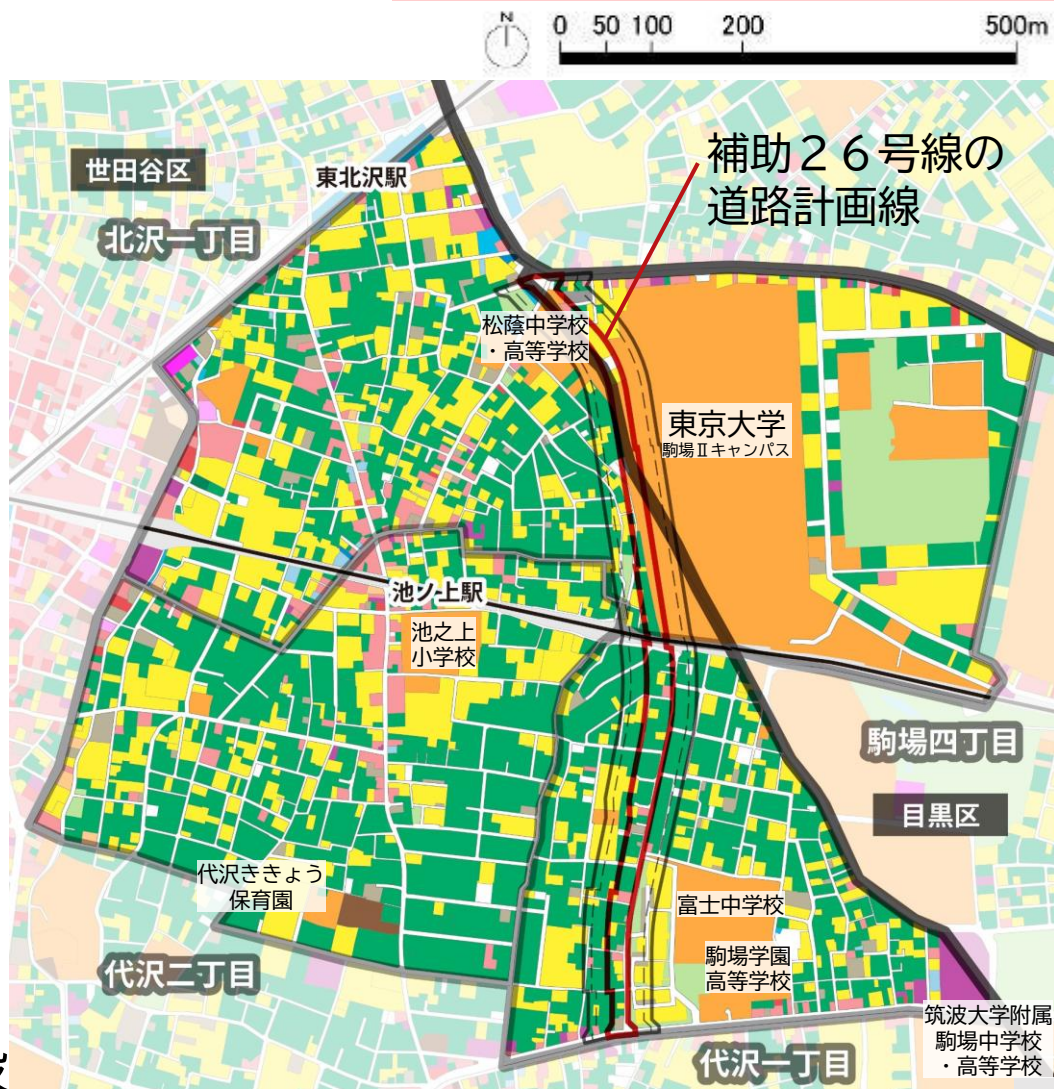
①静かで良好な住環境

土地利用

- 大半が**住宅地**（独立住宅・集合住宅）です。
- 近隣には、幼稚園から大学までの**多様な教育施設**があります。

凡例

	独立住宅
	集合住宅
	教育文化施設







補助26号線沿道地区の現況

②災害に強いまち並み

建物の構造

- 目黒区側は、東大があるため、耐火造が多くなっていますが、世田谷区側は、約6割の建物が防火造・木造です。

凡例

	耐火造
	準耐火造
	防火造
	木造



補助26号線沿道地区の現況

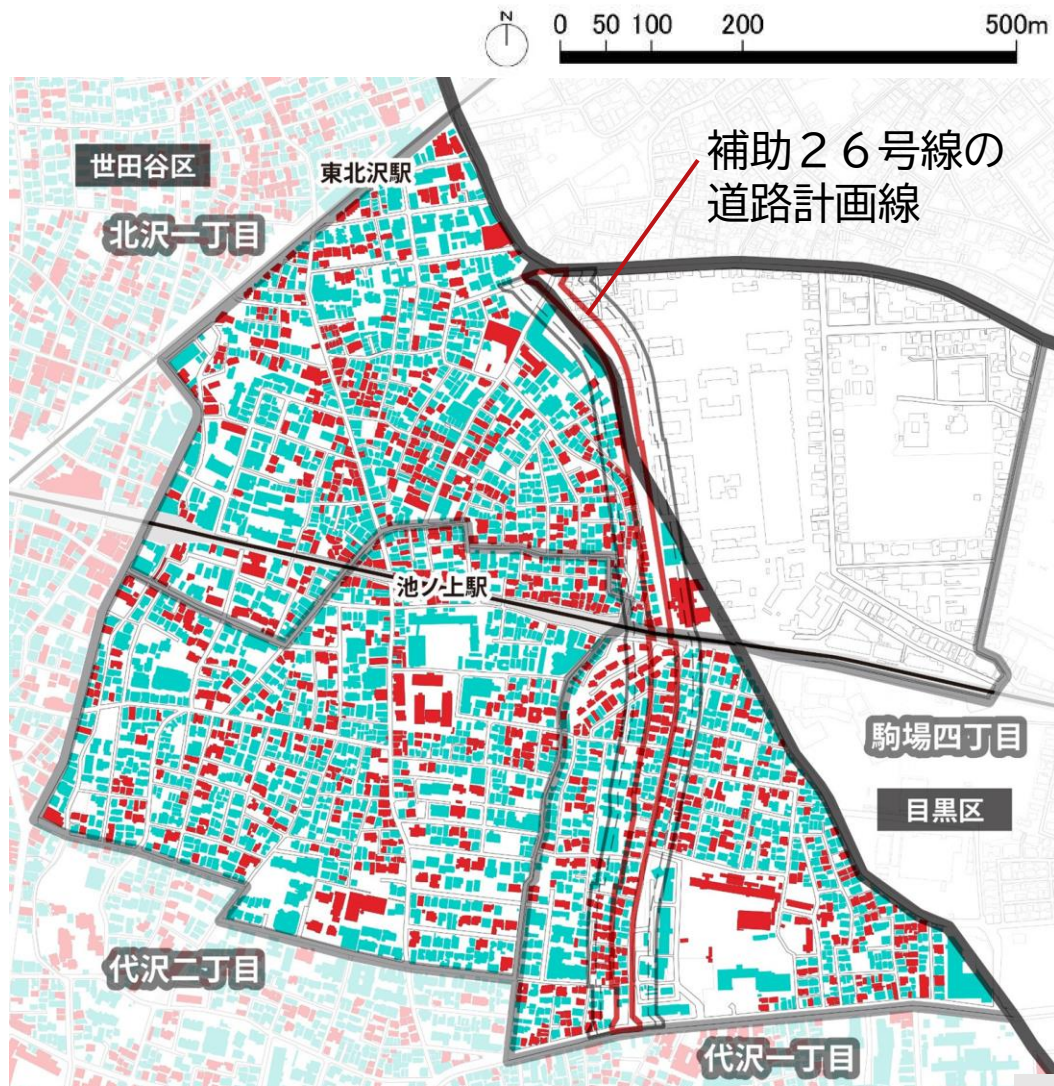
②災害に強いまち並み

建物の建築年次

- 昭和55年以前、
「**旧耐震基準**」
に基づいて建て
られた建物が存
在しています。

凡例

- 昭和55年
以前に建築
- 昭和56年
以降に建築

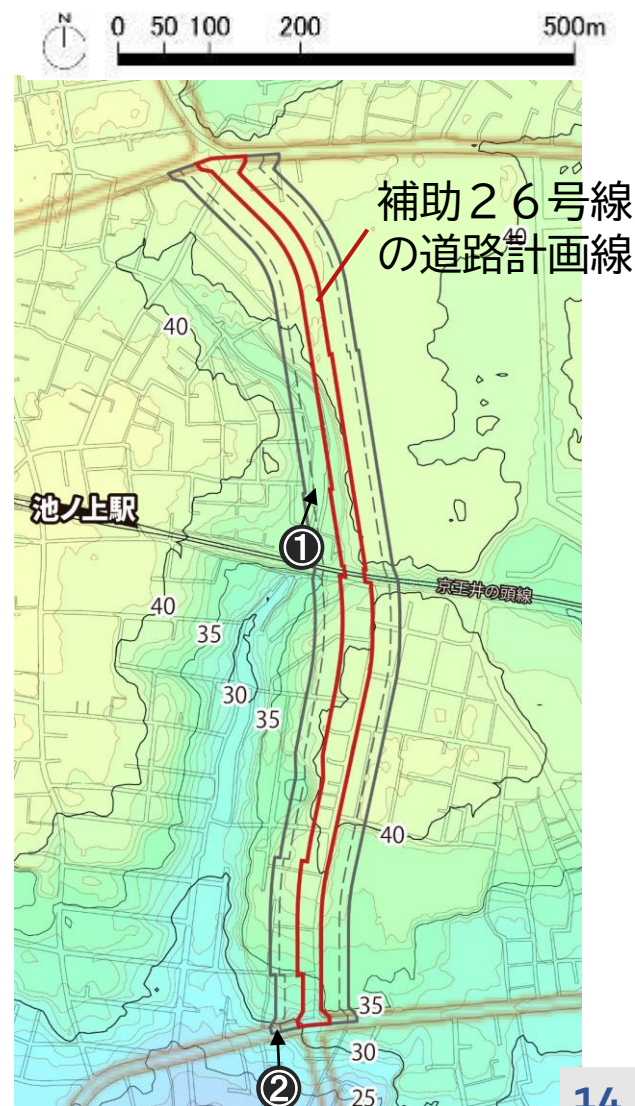
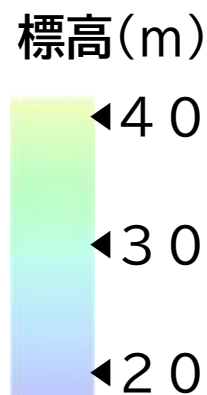
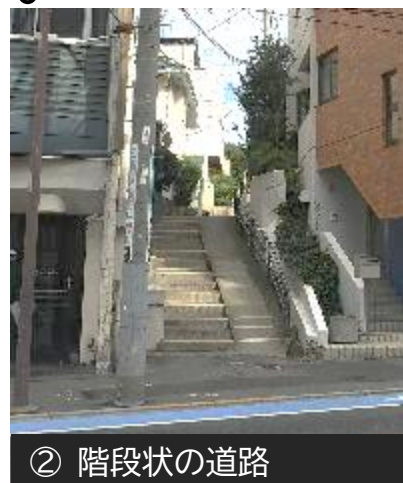


補助26号線沿道地区の現況

④安全性と快適性に配慮した道路

地形・道路

- 起伏がある地形であり、幅員が狭い道路があることから、階段状の道路や行き止まり路があります。
- 緊急車両の通行が困難であるほか、年配の方には移動しにくい道路になっています。



補助26号線沿道地区の現況

③うるおいのあるまち並み

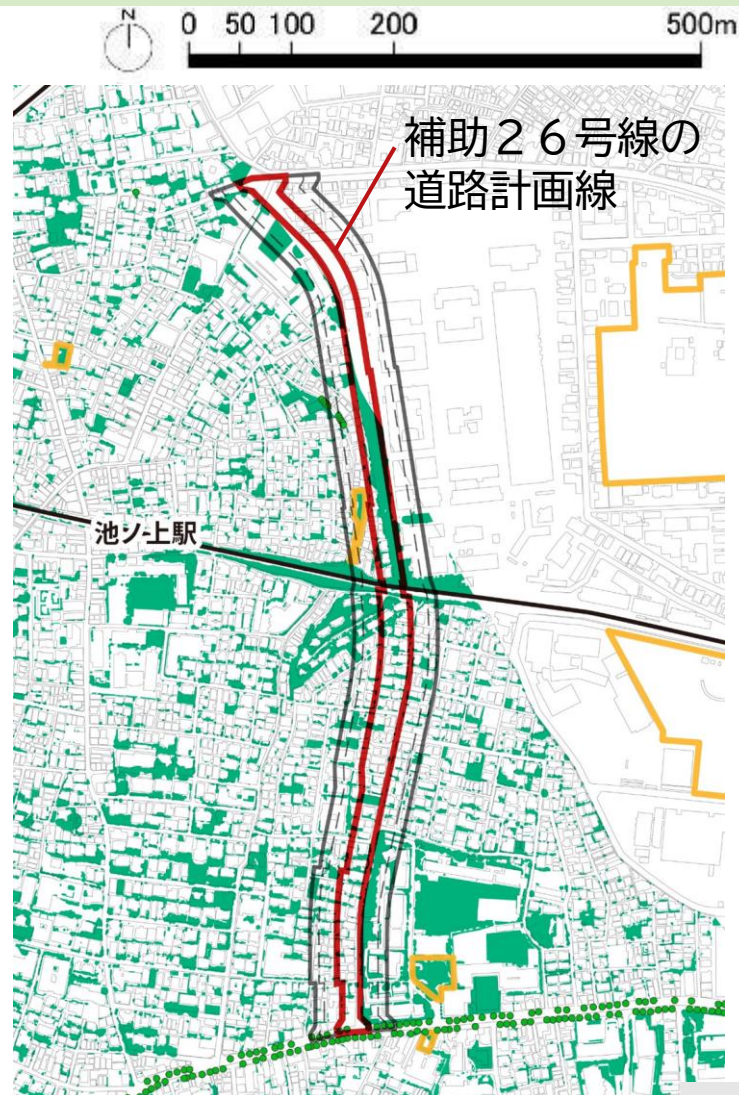
緑・自然

- 東大や都営アパートなどの大規模な敷地の中に良好な緑地があり、豊かな自然が楽しめる環境を形成しています。



凡例

- 公園等
- 緑地
- 街路樹



沿道地区の将来像（案）の考え方

計画上の
位置づけ

地区の
現況

住民等から
のご意見

将来像（案）

沿道地区の将来像（案）の考え方

計画上の
位置づけ

地区の
現況

住民等から
のご意見

将来像（案）

街づくり懇談会における検討の流れ

街の現状、
課題の検討

沿道地区の
将来像の検討

街づくりの
実現化手法の
検討

沿道地区の将来像（案）

- ① 子どもから高齢者まで誰もが便利で暮らしやすい、静かで良好な住環境が形成されている
- ② 建物の不燃化、耐震化が進み、災害に強いまち並みが形成されている
- ③ 環境に優しい、うるおいのあるまち並みが形成されている
- ④ 誰もが移動しやすい、安全性と快適性に配慮した道路が整備されている

第4回街づくり懇談会の振り返り 【要旨】

1. 第4回街づくり懇談会の開催概要
2. 意見交換
3. アンケートの概要
4. 東京都からの回答
5. 区からの回答

令和2年2月27日

世田谷区・目黒区

1. 第4回街づくり懇談会の開催概要

【日 時】令和元年10月20日（日）9：30～12：30

【会 場】池之上小学校 1階 家庭科室

【参加者】15人

2. 意見交換

意見交換では、参加者の皆様に、街歩きをしたグループごとに、「補助26号沿道地区の将来像」をテーマに、街歩きをして気付いたことも踏まえて、お話いただきました。

各テーブルでは、拡大した「街歩きマップ」に、各自のご意見やご質問をご記入いただいた付せん紙を模造紙に貼り、意見交換を行いながら整理しました。

最後に、各テーブルで出されたご意見やご質問を、全体で発表し、参加者全員で共有しました。

(1) 北側から歩いたグループの付せん紙、模造紙に記載された主な意見

《 》は補足説明

項目	内容	位置	
将来像	<ul style="list-style-type: none"> 共同化してマンション建てられるとか… 	北沢 1-3、 1-13 付近	
	<ul style="list-style-type: none"> 擁壁《東大側が擁壁となるため、沿道の街並みと言っても想像しにくい》 		
	<ul style="list-style-type: none"> 高低差がある中で住宅地とするのか緑地とするのか… 		
	<ul style="list-style-type: none"> がけの部分 公園を拡大するとか…区はどういうように考えているのか？ 		
	<ul style="list-style-type: none"> 今の家…住宅地？としてのあり方 公園にするとか？ 《新たな道路に面する街区の現況を見たところ、狭あいな道路に面し住宅が密集していた。そのまま残るようだが、道路整備後の街並みとしてふさわしいか疑問に感じた。ある程度の規制緩和も検討し、共同化等をしやすくし災害に強い街を形成するか、区が公園として整備することなどが考えられるのではないか》 		
	<ul style="list-style-type: none"> 両側が敷地分割したり借地があったりしているので簡単にいくのかな…《沿道の街づくりとはいえ、所有者の意向による部分もあるので、簡単にはいかないだろう》 		—
	<ul style="list-style-type: none"> 路地と大通りのある街になり非常にアンバランス 全体を見て計画してもらいたい 		京王井の頭線 南側 補助26号線 西側

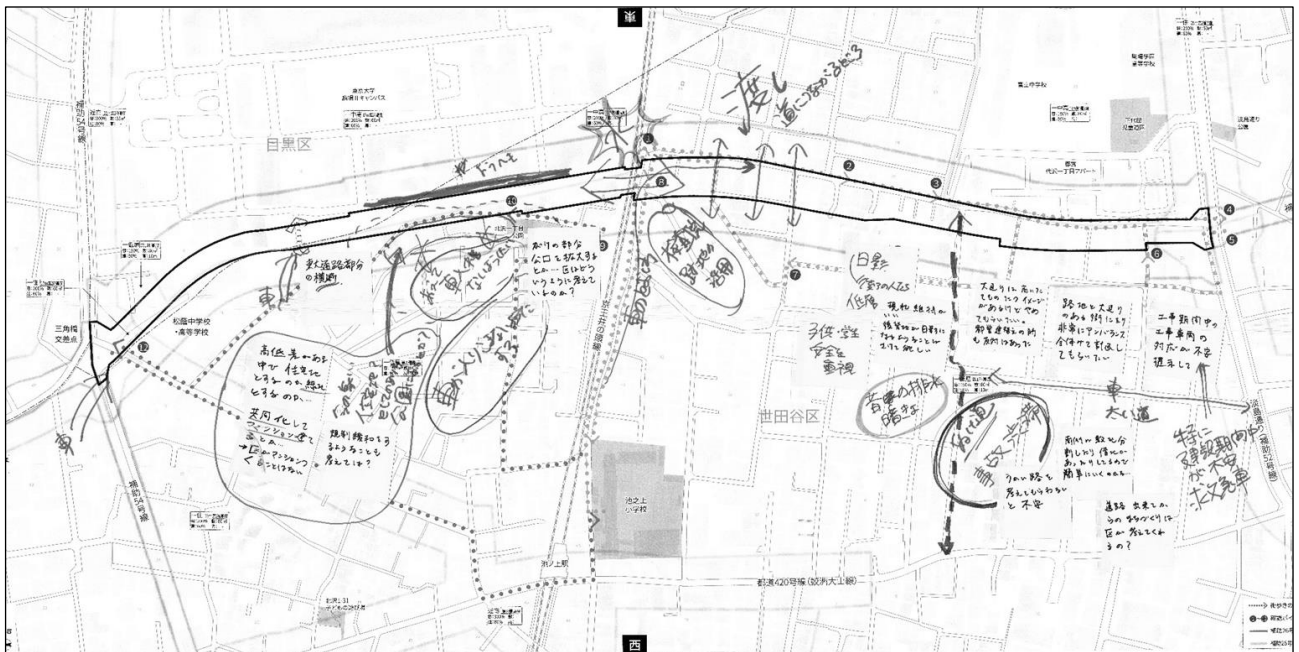
	<ul style="list-style-type: none"> 道路が出来てからのまちづくりは区が考えてくれるの？ 	—
用途地域 高さ制限	<ul style="list-style-type: none"> 規制緩和をするようなことも考えては？ 	北沢 1-3、 1-13 付近
	<ul style="list-style-type: none"> 大通りは高い建物が建つイメージがあるけどやめてもらいたい。都営建替えのときも反対はあった 	京王井の頭線 南側
	<ul style="list-style-type: none"> 日影 後ろの人たち 低層 	京王井の頭線 南側
	<ul style="list-style-type: none"> 現状維持がいい 後背地が日影になるようなことはさけてほしい 	補助26号線 西側
横断	<ul style="list-style-type: none"> 東大の通路部分の横断 	東京大学西側 出入口付近
	<ul style="list-style-type: none"> 車 	
	<ul style="list-style-type: none"> 渡し 道につながるところ《“渡し”を整備し、現況道路につながるところが有力な候補》 	京王井の頭線 南側 掘割部分
排水対策	<ul style="list-style-type: none"> 水《アンダーパスで冠水が発生しないか心配である》 	補助26号線 アンダーパス
	<ul style="list-style-type: none"> 昔の排水 暗きよ《暗きよになった排水路があるため、水が出やすいのではないか。浸水対策を考えてほしい》 	代沢 1-33 付近
周辺道路	<ul style="list-style-type: none"> 車のおし方 	池之上小学校 北東側付近 ～ 京王井の頭線 南側 掘割付近
	<ul style="list-style-type: none"> 抜け道 事故渋滞《抜け道になる箇所が発生すると思 い、周辺交通で事故や渋滞が起きないか心配である》 	都営代沢一丁目 アパート北西側 交差点 ～ 都道420号線 代沢 2-9 付近 交差点
	<ul style="list-style-type: none"> あえて車を入れないようにしたい 	京王井の頭線 北側
	<ul style="list-style-type: none"> 車が入りこまないようにする 	補助26号線 西側
	<ul style="list-style-type: none"> 子ども・学生 安全を重視 	京王井の頭線 南側
	<ul style="list-style-type: none"> う回路を考えてもらわないと不安 	補助26号線 西側
	<ul style="list-style-type: none"> 車 太い道《狭隘な道路が多いエリアで唯一、一定の幅員のある道路》 	淡島度交番前 交差点付近 ～ 代沢 1-29 北西側付近

	<ul style="list-style-type: none"> • 車 	三角橋交差点 付近
道路工事	<ul style="list-style-type: none"> • 工事期間中の工事車両の対応が不安 提示して →特に建設期間中が不安 救急車 	—
国有地	<ul style="list-style-type: none"> • 検査院跡地の活用 	確認ポイント⑧

■グループ発表の内容（①北側から歩いたグループ）

- 京王井の頭線付近北側は、新たな道路に面する街区の現況を見たところ、狭あいな道路に面し住宅が密集していた。そのまま残るようだが、道路整備後の街並みとしてふさわしいか疑問に感じた。ある程度の規制緩和も検討し、共同化等をしやすくし災害に強い街を形成することも考えられる。また、区が公園として整備するなどが考えられるのではないかと。
- 南側は、大きな通りが出来ると高い建物が建つイメージだが、後背地が日影になるようなことは避けてもらいたい。現状維持が良い。
- 沿道の街づくりとはいえ、所有者の意向による部分もあるので、簡単にはいかないだろう。
- 将来の交通のイメージについて、北側は、現状の交通動線に満足しているので、あえて補助26号線から西側に新たに自動車が入らないような策を講じ、住宅地の交通安全を保つことも考えられる。
- 南側は、補助26号線の交通だけでなく、大きな道路が出来ることによって抜け道となる道路など、周辺の交通動線の変化も考慮した計画をしてほしい。
- 副道整備により高低差が発生し淡島通りへのアクセスが不便になると考えられる街区周辺で、特に工事期間中はどの道路を利用すれば良いのか、緊急車両が通行できるのか分からず不安を感じている。どのように対応されるのか、計画を早く提示してほしい。
- 交通や横断について、子どもや学生に配慮し、安全を重視した計画としてほしい。
- 歴史的に水が出やすい背景がある地区であるため、アンダーパスで冠水が発生しないか心配である。
- 国有地については、街にとって有効な活用をしてもらいたい。

■当日取りまとめた内容（①北側から歩いたグループ…下図左側が北方向）



(2) 南側から歩いたグループの付せん紙、模造紙に記載された主な意見

《 》は補足説明

項目	内容	位置
将来像	<ul style="list-style-type: none"> • 用途 →近商はどう？疑問—確かに…でも、住宅地の範囲内であれば →レストランなど… →元々は店が並んでいた 買物 →イメージできるものを 《下記意見及び用途地域・地区計画等の仕組みをイメージできる説明をしてほしいという意見の整理として記入したもの》 	—
	<ul style="list-style-type: none"> • 身近なところでショッピングできるのも良い。(以前はもっとお店があった…) 《今は動物病院しかないが、昔は買い物ができる商店街のようになっていた。住宅地の様相を保つ範囲で、店舗やレストランなどができることは構わないのではないか》 	京王井の頭線 南側
	<ul style="list-style-type: none"> • 淡島通り（近隣商業地域）と同じようなまちなみになるのは考えにくい 	
	<ul style="list-style-type: none"> • もともと商業地ではない →（近隣商業地域のようにまったく変わってしまうべきではない） 	
	<ul style="list-style-type: none"> • 静かな住環境の維持 	—
	<ul style="list-style-type: none"> • 活気 子どもの声 明るい街 	—
	<ul style="list-style-type: none"> • 静かなのも良いが、住む人が孤独になるのはよくない 《高齢者だけでなく、若い世代も住み活気のある街になると良い》 	—
用途地域 高さ制限	<ul style="list-style-type: none"> • 高さ →10メートルにしてほしい 今の住環境を ⇔若干の緩和はやむなしでは？ 《現在の10メートルの高さ制限を維持したいという意見と、若干の緩和はやむを得ないという意見があった》 • 用途と高さ（まちなみ）の関係を示してもらった方が議論しやすい（地区計画も。）《用途地域の変更や地区計画の導入によって、建物用途や建物高さをどの程度コントロールできるのか、具体的に知りたい》 • 壁のように建ってしまうと圧迫感が…（後背） 	—

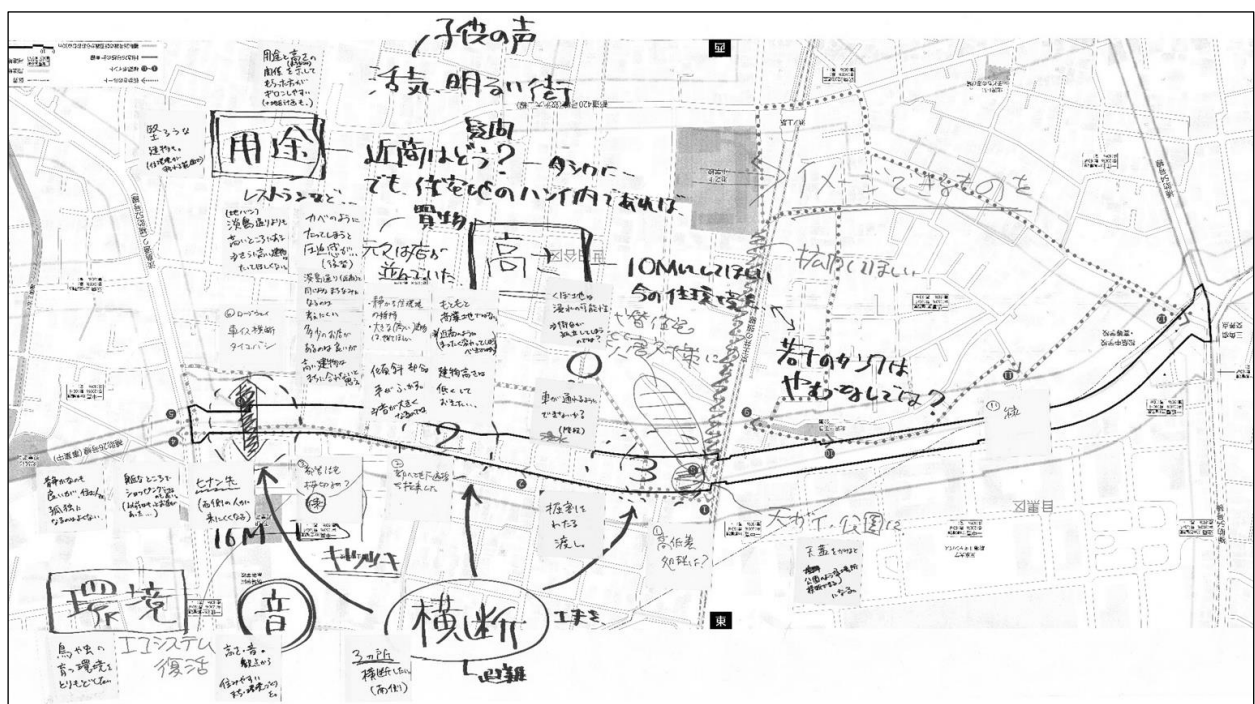
	<ul style="list-style-type: none"> • 多少のお店があるのは良いが、高い建物はまちに合わないと思う 	
	<ul style="list-style-type: none"> • 建物高さは低くしておきたい 	—
	<ul style="list-style-type: none"> • 大きな（高い）建物は、やめてほしい 	
	<ul style="list-style-type: none"> • （地盤）淡島通りよりも高いところにある → さらに高い建物は建ってほしくない 《元々、淡島通りよりも地盤の高い沿道地域に高い建物が建つと、淡島通りから見て非常に圧迫感のあるシルエットになってしまうのではないか》 	補助26号線 淡島通り付近
	<ul style="list-style-type: none"> • 16メートル《敷地の広さなど、周囲の敷地とは条件が異なるため、将来の沿道の街並みを考える際の参考にはしにくい》 	都営代沢一丁目 アパート
横断	<ul style="list-style-type: none"> • 横断 避難 工夫を 	確認ポイント ②・⑥付近、 代沢1-37 東側 付近
	<ul style="list-style-type: none"> • 3箇所横断したい（南側） 	
	<ul style="list-style-type: none"> • ロープウェイ 車イス横断 太鼓橋 《道路よりも高い位置で車イスも横断できる太鼓橋のような構造物がほしい》 	確認ポイント⑥
	<ul style="list-style-type: none"> • 避難先（西側の人）が来にくくなる 《敷地が広いので災害時の一時避難先として需要があると考えられるが、道路整備後は敷地の目の前が横断できなくなり、アクセスが不便になるのではないか》 	都営代沢一丁目 アパート
	<ul style="list-style-type: none"> • 掘割を渡る“渡し” 	京王井の頭線 南側 掘割部分
	<ul style="list-style-type: none"> • 都へ地下通路を提案した 	確認ポイント②
建物の構造	<ul style="list-style-type: none"> • 堅ろうな建物も（住環境が守られる範囲で） 	—
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> • 緑《東大敷地内の緑が道路整備で消失するのは寂しい。地区全体で緑が確保されていることが望ましい》 	確認ポイント⑪
	<ul style="list-style-type: none"> • 都営住宅 桜切るの？ 緑 《昔から馴染みのある木がなくなるのは寂しい》 	確認ポイント③
	<ul style="list-style-type: none"> • 環境 エコシステム復活 → キツツキ • 鳥や虫の育つ環境をとりもどしたい 《昔はコゲラやトンボがよく見られた。再びそのような生き物が棲める環境になると良い》 	都営代沢一丁目 アパート周辺
生活環境 (完成後)	<ul style="list-style-type: none"> • 傾斜部分は車がふかす → 音が大きくなるのでは？ 	都営代沢一丁目 アパート 西側

	<ul style="list-style-type: none"> ・高さ・音の観点から住みやすいまち・環境づくりをしてほしい 	—
排水対策	<ul style="list-style-type: none"> ・窪地は浸水の可能性 →街区が孤立してしまうのでは？ 《後背地側の窪地で浸水が発生した場合、補助26号線側は掘割で横断できず、周辺への移動ルートがかなり限定されてしまうのではないか》 	代沢 1-37 付近
	<ul style="list-style-type: none"> ・車が通れるようにできないか？（階段）浸水 《車が通れるように階段部分が再整備できれば便利だ。しかし、どちらにせよ浸水の際は利用できなくなってしまわないかと不安である》 	代沢 1-37 西側の階段
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・高低差 処理は？ 《現在は東西で高低差がある道路計画線の内側は、平坦になるよう整備されると考えられる。その部分にすり付く周辺の区道は、どのように高低差を処理するのか》 	確認ポイント①
	<ul style="list-style-type: none"> ・天蓋・公園に 	京王井の頭線 付近
	<ul style="list-style-type: none"> ・天蓋をかけると公園のような・横断できる場所になる 	掘割部分
周辺道路	<ul style="list-style-type: none"> ・拡幅してほしい 《幅員が狭く、日常生活の不便や、緊急車両の通行の不安がある。補助26号線の整備とは別問題と認識しているが、拡幅整備すべきだと思う》 	井の頭線沿い 道路（南側）
国有地	<ul style="list-style-type: none"> ・代替住宅 災害対策に 《立ち退きが必要な人のための代替住宅や防災空地にしてほしい》 	確認ポイント⑧

■グループ発表の内容（②南側から歩いたグループ）

- 日常の買い物ができる店舗やレストランがあると良いが、淡島通りの沿道（近隣商業地域部分）のようになるのは考えにくい。用途地域や地区計画等の仕組みを街づくり懇談会の中で説明してもらいながら、住宅地の環境維持を軸とした街並みのルールを検討したい。
- 沿道建物の高さは、現状（10メートル）を維持したい。
- 沿道建物の高さは、現状（10メートル）より少し高くなるのはやむを得ないと思う。
- 現在の静かな住環境も魅力的だが、高齢者が孤立しないよう、若い世代も住む活気のある街になると良い。
- 緑豊かな現在の環境を維持し、より良くしたい。また、かつて周辺でコゲラやトンボが多く見られたような環境になると良い。
- 副道が計画されている部分が多い京王井の頭線の南側では、特に現状の横断の利便性を確保してほしい。道路整備後も3箇所は横断できる場所が必要だと思うが、横断する場所によっては、道路本線との高低差を確保するために大きな構造物が必要になってしまう部分もありそうである。
- 上り坂の急な部分では自動車がエンジンをふかし大きな音が出ると考えられるため、一般的な都市計画道路よりも更に入念な騒音対策を考えてほしい。
- 掘割部分に蓋をかけて、公園のような空間を整備できないか。
- 補助26号線と周辺道路の高低差がどのように処理されるのか疑問に思った。
- 万が一、付近にある窪地が浸水した際、移動ルートがかなり限定されてしまう場所があることに不安を感じる。階段の改修も検討すべきではないか。
- 国有地については、立ち退きが必要な人のための代替住宅や防災空地にするなど、活用を積極的に検討してほしい。

■当日取りまとめた内容（②南側から歩いたグループ…下図右側が北方向）



3. アンケートの概要

第4回街づくり懇談会の出席者15人のうち、10の方がアンケートに記入してくださいました。内容は、次のとおりです。

(1) 第4回街づくり懇談会の感想

自然環境	<ul style="list-style-type: none">・緑の保持、維持を考慮！・緑地がかなり開発されて減少する→緑地の確保と再生→国有地の利用
バリアフリー	<ul style="list-style-type: none">・この際バリアフリー化の徹底！（改良部分を中心に）
周辺道路	<ul style="list-style-type: none">・井ノ頭線南側について→道路そのものの高低差があるため、周辺との接続が複雑となっていると感じた。
街歩き	<ul style="list-style-type: none">・街歩き自体は発見が多くあり、有益でした。・いつもと違う感覚で地元の街を散策させて頂きました。また、地元の方々と会話する機会となり、親近感も深まりました。・現地周回は、非常によかった。感謝！（日曜出勤）・たいへん有意義でした。実地を見たこと、他の参加者の皆さんの意見を聞いたこと、様々に丁寧な説明を聞いたことが収穫でした。日曜日にも関わらず、このような機会を設けていただいた関係者の皆さんに敬意を表します。・実際に歩いて計画の実像がだいぶ分かってきました。ありがとうございました。・実際の現場を見てリアルなイメージが感じられた。
案内方法	<ul style="list-style-type: none">・呼びかける範囲が30メートルで、対象外だったため、懇談会の存在を知りませんでした。「補助26号」で検索して、偶然この催しを知りました。危ないところでした。都営住宅、東大先端研などエリア全体の環境、地域の魅力への影響が大きい一帯も含まれるので、もっと広く呼び掛けるべきではと思いました。
その他	<ul style="list-style-type: none">・丁寧に説明していただけたので、少しずつ見えてきた。・初めて参加しました。イメージは少しできましたが多くの課題があることがわかりました。

(2) 沿道街づくりに関する意見

用途地域 高さ制限	<ul style="list-style-type: none"> ・補助 26 号線沿いの用途変更等で高さ規制が緩和されれば、その外側の地域にとって景観、日照の悪影響が懸念される。高さは現状維持が望ましい。 ・西側の一種住専（第一種低層住居専用地域）は維持してほしい。（近隣商業地域となることには反対） →レストランや店舗が出来るのは良いが、10メートル以上の建物は建たないようにしてほしい →（※少なくとも側道は、用途変更なしに10メートル規制） ・〈用途地域〉沿道は若干の変更OK。その他の住宅地はできる限り現状を維持。
将来像	<ul style="list-style-type: none"> ・大通りが出来ると色々なお店も出来ると思いますが、住民の方の今の静かさを妨げになるようなお店が出来るのは心配です。
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・戦後の雰囲気が残る時代に立てられた計画が今もまだ生きていて、それをそのまま実行しようとしていることが驚きです。現状や地域の将来像に合わせ柔軟に見直すべきです。都全体の防災の一環としてだけでなく道ができて、街がよくなるような事業にしてほしいです。 ・①の地下道路の上部天井部を拡大、公園化したい。（町分断を防ぐ為）
横断	<ul style="list-style-type: none"> ・〈東西横断ルート〉3箇所確保。よろしくお願ひします。 ・ポイント⑥で東西の交通が分断されるのは代沢 1-25~29の住民にとって、淡島通りや代沢一丁目住宅へのアクセスを著しく悪化させる。歩行者、自転車用の橋をかけるなどの対策を望みたい。 ・⑥の所に東西を連絡できる歩道橋を作ってほしい。 ・③地点へのブロック埋込み（地下通路）は是非お願ひしたい。（バリアフリー化）
周辺道路	<ul style="list-style-type: none"> ・京王線沿いの道路を拡幅願ひたい。 ・⑦地点西方階段は、車通行可能にできないか？検討願ひたい。
国有地	<ul style="list-style-type: none"> ・⑧の国有地の有効活用（立ち退き代替地+公園）を実現したい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・この道路を活かして住み良い街になることを望みます。 ・作るなら、住民の”住みやすい街”をめざしてほしい。これだけ大きな道路であれば、騒音、又は建物の高さなどに配慮してほしい。高齢になるので高齢者の配慮も！ ・たくさんの住民の方が参加出来るように呼び掛けて下さい。 ・地域住民の声を生かしてください。

(3) その他

建物高さ	<ul style="list-style-type: none">・高層建築ができることによる環境の悪化が心配
自然環境	<ul style="list-style-type: none">・都営アパート、東大先端研の樹木の伐採は残念・都営アパートや東大、松蔭などの緑が削られるのは、周辺の景観だけでなく、地域の住環境としても悪影響が大きい。景観やヒートアイランドなどの点で懸念が大きい
生活環境 (完成後)	<ul style="list-style-type: none">・騒音＝高低差でエンジンふかすことによるうるさを考慮しているのか？・都の騒音予測は坂道でエンジンをふかすことを考慮しているのか。淡島通り以上にうるさくなる懸念がぬぐえない・騒音（坂道のフカシ）には同感
道路工事	<ul style="list-style-type: none">・工事中<ul style="list-style-type: none">・自宅から車の出入りが出来るようにしてほしい・救急車や消防車などの緊急車両が通れるようにしてほしい・工事期間 長期にならないようにしてほしい
避難場所	<ul style="list-style-type: none">・東西横断できない→避難所の変更？
周辺道路	<ul style="list-style-type: none">・都道の拡張に乗じて区道の整備も今回しっかりしてほしいと改めて思いました

4. 東京都からの回答

(1) 道路整備について

意見：

- 路地と大通りのある街になり、非常にアンバランスである。全体をみて計画してもらいたい。
- 戦後の雰囲気が残る時代に立てられた計画が今もまだ生きていて、それをそのまま実行しようとしていることが驚きです。現状や地域の将来像に合わせ柔軟に見直すべきです。東京都全体の防災の一環としてだけでなく、道ができて、街がよくなるような事業にしてほしい。
- この際にバリアフリー化を徹底してほしい。(改良部分を中心に)

●世田谷区から報告を受け、ご意見として承りました。

(2) 道路工事について

意見：

- 工事期間は、長期にならないようにしてほしい。
- 工事期間中の工事車両の動線が不安なため、どのようにするのか提示してほしい。
- 自宅から車の出入りができるようにしてほしい。
- 救急車や消防車などの緊急車両が通れるようにしてほしい。
- 副道整備により高低差が発生し淡島通りへのアクセスが不便になると考えられる街区周辺で、特に工事期間中はどの道路を利用すれば良いのか、緊急車両が通行できるのか分からず不安を感じている。どのように対応されるのか、計画を早く提示してほしい。

【「第3回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

●工事期間中の工事車両や資材搬入のルートにつきましては、沿道の皆様の生活に配慮しながら、具体的に検討していきます。

(3) 完成後（開通時）の環境について

意見：

- 傾斜部分は車の音が大きくなるのではないか。
- 東京都の騒音予測は、坂道で車がエンジンをふかすことを考慮しているのだろうか。淡島通り以上にうるさくなる懸念がある。
- 騒音（坂道のフカシ）には同感である。
- 上り坂の急な部分では自動車がエンジンをふかし大きな音が出ると考えられるため、一般的な都市計画道路よりも更に入念な騒音対策を考えてほしい。
- これだけ大きな道路であれば、騒音について配慮してほしい。

【「第1回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 騒音・振動については、今回整備する補助26号線（代沢）と同規模の都道での測定結果を調査し、いずれも環境基準以下であることを確認しております。
- 整備にあたっては、「世田谷区環境基本条例」に基づく環境配慮制度に則り、本事業を実施することによる環境影響及びそれに対する配慮方針について検討を行っております。騒音については、今回整備する補助26号線（代沢）と同規模の都道での測定結果を調査し、いずれも環境基準以下であることを確認しております。
- 本路線の車道には、低騒音舗装を採用し、道路交通騒音のより一層の低減を図ります。

＜表 同様の規模の都道における騒音・振動測定結果＞

路線名	観測地点	車線数	道路幅員	騒音レベル (db)	
				昼間	夜間
都道赤坂杉並線 (井ノ頭通り)	世田谷区 大原1-16	2	25m	66	65
				評価の指標〔騒音〕 (db)	
				昼間	夜間
				70	65

※騒音の測定結果は、平成27年度の実績値です。

※評価の指標〔騒音〕は「環境基本法」に基づく「騒音に係る環境基準（幹線交通を担う道路に近接する空間に係る環境基準）」です。

※なお、夜間の騒音レベル65dbは、車のアイドリング程度のイメージです。

(4) 道路構造について

1) 掘割部分について

意見：

- ・掘割を渡るための“渡し”がほしい。
- ・天蓋をかけると、公園のような横断できる場所になる。
- ・掘割部分に蓋をかけて、公園のような空間を整備できないか。
- ・地下道路の上部天井部を拡大、公園化したい。
- ・がけの部分について、公園を拡大するなどできないか。

【「第3回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 掘割部の擁壁や蓋掛部については、今後、警視庁と協議を図りながら、横断箇所など検討を進めていきます。

2) 既存の道路との接続について

意見・質問：

- ・補助26号線と周辺の道路はどのように高低差処理をするのだろうか。

- 京王井の頭線南側について、道路そのものの高低差があるため、周辺道路との接続が複雑になっていると感じた。
- 代沢一丁目31番や37番西側の階段を車が通れるようにできないか。階段の改修も検討すべきではないか。
- 京王井の頭線に面する南側の道路を拡幅してほしい。
- 住宅地に車が入りこまないようにしてほしい。
- 京王井の頭線の南側では、補助26号線の交通だけでなく、大きな道路ができることで抜け道となる道路など、周辺の交通動線も考慮した計画をしてほしい。
- う回路を考えてもらわないと不安である。
- 京王井の頭線の北側では、現状の交通動線に満足しているので、あえて補助26号線から西側に新たに自動車が流入しないような策を講じ、住宅地の交通安全を保つことも考えられるのではないか。
- 都道の拡張に乗じて区道の整備も今回しっかりしてほしい。

【「第2回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 既存の交差道路との接続につきましては、今後、警視庁や世田谷区、目黒区と調整を図りながら、詳細に検討していきます。
- 区としては、事業化された後、用地がある程度確保された段階で、補助26号線と区道との取り付けなど、道路整備に向けた調整を、東京都と行っていきます。

(5) 道路の横断について

○京王井の頭線南側（代沢1丁目）

意見：

- 避難場所に避難するために、横断できるような工夫をしてほしい。
- 副道が計画されている部分が多い京王井の頭線の南側では、特に現状の横断の利便性を確保してほしい。
- 東西に3箇所は横断できる場所が必要だと思うが、場所によっては、道路本線との高低差を確保するために大きな構造物が必要になる部分もありそうである。
- 道路よりも高い位置で車イスも横断できる太鼓橋のような構造物がほしい。
- 災害時に、都営代沢一丁目アパートは敷地が広く一時避難先として需要があると考えられるが、道路ができることにより行きにくくなり、アクセスが不便になるのではないか。
- 東西の交通が分断されるのは代沢1-25～29の住民にとって、淡島通りや都営代沢一丁目アパートへのアクセスを著しく悪化させる。歩行者、自転車用の橋をかけるなどの対策を望む。
- 後背地の窪地が浸水した場合、補助26号線側は掘割で横断できず、周辺への移動ルートがかなり限定され、孤立してしまうのではないだろうか。
- 代沢一丁目25番付近に東西を連絡できる歩道橋を作ってほしい。
- 都営代沢一丁目アパート北側に地下通路（バリアフリー化）を是非お願いしたい。

- ・交通や横断について、子どもや学生に配慮し、安全を重視した計画としてほしい。
- 京王井の頭線北側（北沢1丁目・駒場4丁目）

意見：

- ・東大の通路部分の横断を確保してほしい。

【「第3回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 今後、警視庁調整を図りながら、横断歩道や信号機の設置など、安全面も考慮し適切な個所で道路横断が可能となるよう検討していきます。

(6) 道路整備による環境の変化について

1) 地域の魅力について

意見・質問：

- ・緑の保持、維持を考慮してほしい。
- ・都営アパート、東大先端研の樹木の伐採は残念である。
- ・都営アパートや東大、松蔭などの緑が削られるのは、周辺の景観だけでなく、地域の住環境としても悪影響が大きい。景観やヒートアイランドなどの点で懸念が大きい。
- ・都営住宅の桜は切ってしまうのだろうか。（昔から馴染みのある木がなくなるのは寂しい）
- ・鳥や虫の育つ環境を取り戻したい。（昔はコゲラやトンボがよく見られた。再びそのような生き物が棲める環境になると良い。）

【「第2回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 地形、水系、緑地等の自然的な条件や周辺の土地利用に配慮した道路計画を策定するとともに、現地にて周辺への環境影響の把握に努めます。
- 緑による沿道の居住環境の保全を図るため、可能な限り道路緑化を推進します。

2) 水害等について

意見：

- ・歴史的に水が出やすい背景がある地区であるため、アンダーパスで冠水が発生しないか心配である。

【「第2回街づくり懇談会の振り返り」より再掲】

- 補助26号線と京王井の頭線交差部のアンダーパス部分につきましては、必要に応じてポンプ排水を行うなど冠水対策を行います。
集中豪雨などの気象状況により、万が一冠水するような場合は、早期に通行止めにするなど事故防止を図ります。

5. 区からの回答

意見：

- 高低差がある中で住宅地とするのか緑地とするのか。
- 東大敷地内の緑が道路整備で消失するのは寂しい。地区全体で緑が確保されていることが望ましい。
- 道路が出来てからのまちづくりは、区が考えてくれるのか。
- 道路を作るなら、住民の“住みやすい街”をめざしてほしい。
- 高さ・音の観点から住みやすいまち、環境づくりをしてほしい。
- 高齢になるので、高齢者の配慮をしてほしい。
- この道路を活かして住み良い街になることを望みます。
- 東大側が擁壁となるため、沿道の街並みと言っても想像しにくい。
- 沿道の街づくりとはいえ、所有者の意向による部分もあるので、簡単にはいかないのではないか。
- 緑豊かな現在の環境を維持し、より良くしたい。また、かつて周辺でコゲラやトンボが多く見られたような環境になると良い。
- 京王井の頭線北側では、狭あいな道路に面して住宅が密集していた。ある程度の規制緩和も検討し、共同化等をしやすくし災害に強い街を形成するか、区が公園として整備することなどが考えられるのではないか。

●新しく整備されようとしている道路沿道の将来像につきましては、これまで皆様からいただいた街の現状と課題を踏まえ、今回の第5回街づくり懇談会において整理し、案をお示しした上で、意見交換をさせていただきます。

●沿道地区の将来像について、皆様と共有させていただいた後に、それを実現していくための方策につきましても、引き続き、街づくり懇談会などでご意見をいただきながら、検討を進めていきます。

意見：

- 身近なところでショッピングできるのも良い。以前はもっとお店があった。(住宅地の様相を保つ範囲で、店舗やレストランなどができることは構わないのではないか。)
- レストランや店舗が出来るのは良い。
- 多少のお店があるのは良い。
- 用途地域について、沿道は若干の変更は良い。その他の住宅地はできる限り現状を維持する。
- 大通りが出来ると色んなお店も出来ると思うが、住民の方の今の静かさの妨げになるようなお店が出来るのは心配である。
- 静かな住環境を維持したい。
- 現在の静かな住環境も魅力的だが、高齢者が孤立しないよう、若い世代も住む活気のある街になると良い。
- 子どもの声が聞こえ、活気ある明るい街になると良い。
- 住環境が守られる範囲で、堅ろうな建物も必要ではないか。

- 西側の用途地域は、第一種低層住居専用地域を維持してほしい。近隣商業地域となることは反対である。
- 日常の買い物ができる店舗やレストランがあると良いが、淡島通りの沿道（近隣商業地域部分）と同じような街並みになるのは考えにくい。
- もともと商業地ではないため、近隣商業地域のようにまったく変わってしまうべきではない。

●現在、地区の大部分は、第一種低層住居専用地域であり、主に住宅しか建築することができません。そこで、新しく整備されようとしている道路沿道の将来像を皆様との間で共有した上で、今後の街づくり懇談会において、将来的にどのような用途の建物があると良いのか、住民の皆さまとともに検討を深めていきます。

意見：

- 大通りは高い建物が建つイメージがあるが、やめてもらいたい。都営住宅の建替えの際にも反対があった。
- 京王井の頭線の南側は、大きな通りが出来ると高い建物が建つイメージだが、後背地が日影になるようなことは避けてもらいたい。現状維持が良い。
- 後背地にとって、高い建物が壁のように建ってしまうと圧迫感があるのではないかな。
- 高い建物は街に合わないと思う。
- 建物の高さは低くしておきたい。
- 大きな（高い）建物は、やめてほしい。
- 沿道建物の高さは、現状（10メートル）を維持したい。
- 10メートル以上の建物は建たないようにしてほしい。（少なくとも側道は、用途変更なしに10メートル規制）
- 沿道建物の高さは、現状（10メートル）より少し高くなるのはやむを得ないと思う。
- 規制緩和をするようなことも考えてはどうか。
- 元々、淡島通りよりも地盤が高いため、さらに高い建物は建ってほしくない。（地盤の高い沿道地域に高い建物が建つと、淡島通りから見て非常に圧迫感のあるシルエットになってしまうのではないだろうか。）
- 補助26号線沿いの用途変更等で高さ規制が緩和されれば、その外側の地域にとって景観、日照の悪影響が懸念される。高さは現状維持が望ましい。
- 高層建築ができることによる環境の悪化が心配である。
- これだけ大きな道路であれば、建物の高さに配慮してほしい。
- 現在の都営代沢一丁目アパート部分の高さ制限（16メートル）は、敷地が広く、周囲の敷地とは条件が異なるため、将来の沿道の街並みを考える際の参考にはしにくい。

- 現在、沿道地区の大部分は、建築物の高さの最高限度が10メートルとなっています。沿道地区における将来の建築物の高さの最高限度につきましては、今後の街づくり懇談会において、沿道の将来像を皆様と共有した上で、今後の街づくり懇談会において、「将来的にも現状のままだとよとするのか」、「緩和を認めるとすれば、どれ位の高さまで許容することができるのか」検討を深めていきます。

意見：

- 用途地域や地区計画等の仕組みを街づくり懇談会の中で説明してもらいながら、住宅地の環境維持を軸とした街並みのルールを検討したい。（用途地域の変更や地区計画の導入により、建物用途や建物高さをどの程度コントロールできるのか、具体的に知りたい。）

- 今後の街づくり懇談会において、具体的な街並みづくりのルールについて意見交換を行っていただく際には、用途地域や地区計画等の仕組みなどを分かりやすくお伝えするよう、工夫していきます。

質問：

- 国有地（会計検査院跡地）については、街にとって有効な活用をしてもらいたい。
- 緑地が道路整備により減少するため、緑地の確保と再生を目的に、国有地を利用できないか。
- 国有地については、立ち退きが必要な人のための代替住宅や防災空地、公園にするなど、活用を積極的に検討してほしい。
- 国有地の有効活用を実現したい。

- ご質問の国有地につきましては、国は令和2年1月22日時点において、「本財産に係る土地利用のあり方を含め、処分方針検討中である」との理由により、処分等を留保している状況であり、現時点において、活用方針は未定となっています。

意見：

- 呼びかける範囲が30メートルで、対象外だったため、懇談会の存在を知らなかった。「補助26号線」で検索して、偶然この催しを知った。都営住宅、東大先端研などエリア全体の環境、地域の魅力への影響が大きい一帯も含まれるため、もっと広く呼び掛けるべきではと思った。
- たくさんの住民の方が参加出来るように呼び掛けてほしい。

- 現在、補助26号線の沿道おおむね30メートルの範囲にお住まいの方と土地や建物を所有する方に「街づくりニュース」を配布・郵送していますが、ご希望の方には、個別に配布しております。
- なお、多くの方に参加していただけるよう、「街づくりニュース」を対象者の方に配布・郵送するのに合わせ、補助26号線が位置する町会の方へ掲示板への掲示や回覧などをお願いしております。

意見：

- ・街歩き自体は発見が多くあり、有益だった。
- ・いつもと違う感覚で地元の街を散策させて頂いた。また、地元の方々とは会話する機会となり、親近感も深まった。
- ・現地周回は、非常に良かった。感謝！（日曜出勤）
- ・たいへん有意義だった。実地を見たこと、他の参加者の皆さんの意見を聞いたこと、様々に丁寧な説明を聞いたことが収穫だった。日曜日にも関わらず、このような機会を設けていただいた関係者の皆さんに敬意を表したい。
- ・実際に歩いて計画の実像がだいぶ分かってきた。ありがとうございました。
- ・実際の現場を見てリアルなイメージが感じられた。
- ・丁寧に説明していただけたので、少しずつ見えてきた。
- ・初めて参加しました。イメージは少しできましたが多くの課題があることがわかった。
- ・地域住民の声を生かしてほしい。

- 今後も、皆様に建設的な意見交換をしていただけるよう、工夫をしていきます。

●『街づくりアンケート』の結果

【アンケート調査概要】

調査目的：補助26号線沿道の将来の街の姿に関する意向の把握

調査対象：補助26号線の沿道30m以内にお住まいの方や土地・建物を所有する方

実施期間：令和元年9月17日（火）～11月30日（土）

配布数：779通
地区内にお住まいの方（ポストイング）：675通
地区外にお住まいの方（郵送）：104通

回収数：18通（回収率 2.3%）

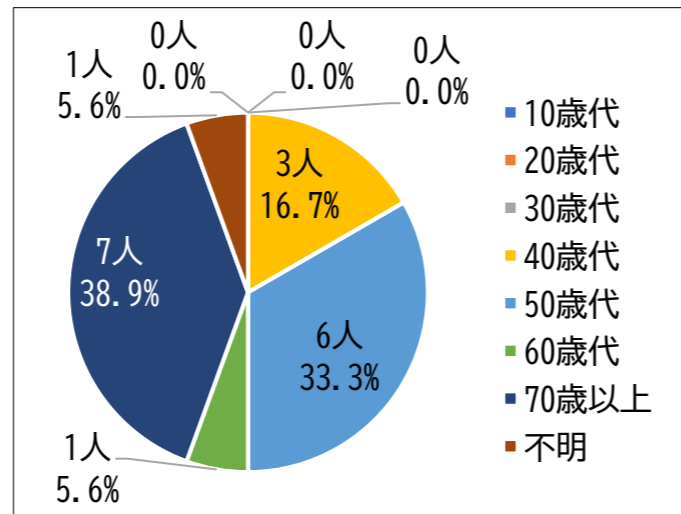
【調査結果】

ご回答いただいた方について

- ご回答いただいた方はすべて40歳代以上で、70歳以上の方が最も多く、次いで50歳代、40歳代となっています。
- ご回答いただいた方の住所は、京王井の頭線の南側が9人、北側が7人でした。

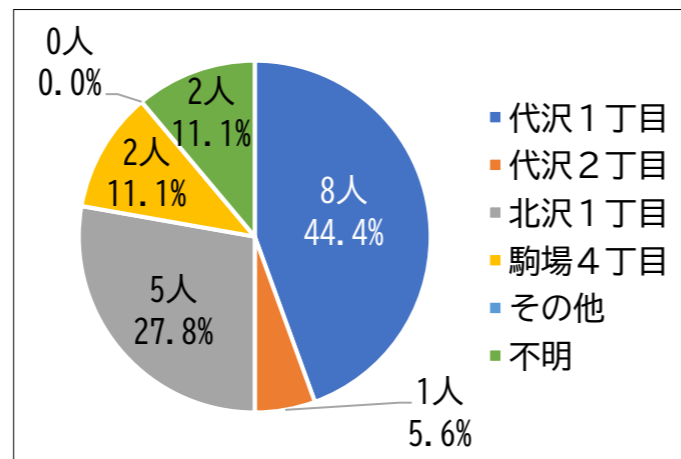
a. 年齢

10歳代	0人	0.0%
20歳代	0人	0.0%
30歳代	0人	0.0%
40歳代	3人	16.7%
50歳代	6人	33.3%
60歳代	1人	5.6%
70歳以上	7人	38.9%
不明	1人	5.6%
計	18人	100.0%



b. 住所

南側	代沢1丁目	8人	44.4%
	代沢2丁目	1人	5.6%
北側	北沢1丁目	5人	27.8%
	駒場4丁目	2人	11.1%
その他	0人	0.0%	
不明	2人	11.1%	
計	18人	100.0%	



問1 補助26号線沿道(道路計画線から20mの範囲)の将来の街の姿について、どのように思いますか？「将来こうなってほしいと思う街のイメージ」や「将来こうあるべきと思う大切にしたい考え方」について、該当するものすべてを選んでください。

- 「3. 小規模(150㎡程度)のコンビニエンスストアやカフェなどの店舗や飲食店などがあるまち」や「2. 5階建て程度までが可能な住宅を中心としたまち」が多く選ばれていました。

■集計結果

※複数回答可 回答者

	全回答 18人	南側 9人	北側 7人	不明 2人
1. 2～3階建て程度の住宅を中心としたまち	5人	2人	2人	1人
2. 5階建て程度までが可能な住宅を中心としたまち	9人	4人	4人	1人
3. 小規模(150㎡程度)のコンビニエンスストアやカフェなどの店舗や飲食店などがあるまち	11人	5人	4人	2人
4. 中規模(500㎡程度)の食料品スーパーや銀行の支店などの店舗や、病院などがあるまち	4人	2人	0人	2人
5. 比較的規模の大きな(1,500㎡程度)の食料品スーパーなどの店舗や事務所などがあるまち	0人	0人	0人	0人
6. パチンコ店やカラオケボックスなどがあるまち	0人	0人	0人	0人
7. その他(ご自由にご記入ください)	3人	2人	0人	1人

	0	2	4	6	8	10	12
1. 2～3階建て程度の住宅を中心としたまち		2人	2人	1人	5人		
2. 5階建て程度までが可能な住宅を中心としたまち		4人	4人	1人	9人		
3. 小規模(150㎡程度)のコンビニエンスストアやカフェなどの店舗や飲食店などがあるまち		5人	4人	2人	11人		
4. 中規模(500㎡程度)の食料品スーパーや銀行の支店などの店舗や、病院などがあるまち		2人	2人	4人			
5. 比較的規模の大きな(1,500㎡程度)の食料品スーパーなどの店舗や事務所などがあるまち	0人						
6. パチンコ店やカラオケボックスなどがあるまち	0人						
7. その他(ご自由にご記入ください)		2人	1人	3人			

■合計 ■南側 ■北側 ■不明

「7. その他(ご自由にご記入ください)」のご意見

沿道は②、③、④それ以外の区域は①が基本。
線(带状)としての沿道と面としての住宅地がバランスよく形成された街が望ましい。

大型道路ができる分、緑の多い町にしてほしい。

子どもや高齢者が安心して歩けるまち
街路樹や植栽の美しい緑あふれるまち

問2 その他、沿道地区の街づくりについて、ご自由にお書きください。

- 沿道地区の街づくりについては、“静かな環境”や“ゆったりとしたまち並み”を望むご意見や、カフェやレストラン、身近な場所でのショッピングなどのご意見がありました。また、沿道建物の不燃化や建替えの促進、若手住民が住みやすい街づくりとして中小規模のマンション建設や保育施設の充実などのご意見がありました。
- 道路整備については、利便性や防災性向上の観点から早い完成を期待するご意見・道路計画を不満に感じているご意見や、バリアフリーに配慮した広く平らな歩道、街路樹、無電柱化、防犯カメラの設置などにより、緑豊かで安全な歩行環境を望むご意見などがありました。

■集計結果

沿道地区の街づくりについて	静かな環境、ゆったりとしたまち並み
	近くに渋谷、三茶、下北沢など賑やかな場所があるので静かな環境を大切にしたい。
	ゆったりとした街並。
	第一種低層、静かな環境を守ってください。
	用途地域の変更
	道路脇の土地の用途地域は変更し、一階はカフェなどができるようになると街全体の雰囲気良くなると思います。
	次世代の若手住民が住みやすい街づくり
	・二世帯住宅や中小規模マンション建設。 ・身近な場所でショッピング。 ・カフェ・レストランの楽しみ。 ・保育施設の拡充。
	安全・安心な環境づくり
	・沿道建物の不燃化促進。 ・沿道は区道を含め無電柱化。 ・26号線取付道路は狭く危険な箇所多し。 事業化を契機に沿道周辺の課題解決を要す。
沿道の用途地域は建て替えの際に少しでも広く造れる様に緩和してほしい。	
沿道の建て替え促進のため用途地域を変更。	
道路整備について(右ページに続く)	早い完成を期待する
	利便性向上、防災上の観点より一日も早い完成(開通)を願っています。
	防災上の観点より一刻も早い竣工を願っています。
	一日も早い開通を待っております。
	道路計画は賛成です。早く作ってください。
	計画の詳細が知りたい
	立ち退きが必要な区域をもっと明白に地図で示してほしい。スケジュールも不明瞭。
	計画を不満に感じている
補助 26号線は何十年も前に立案された「環状6・5号線」だったと思います。その後完成した高速環状線がその役割を十分に果たしています。現在のような静かな環境を自動車による振動、騒音、排気ガスを四六時中振りまく環境にすることは許されません。どうか工事計画をすぐに中止して下さい。お願いいたします。	

道路整備について(続き)	緑豊かで安全な歩行環境の整備
	歩道は広く、ガードレールをしっかり造り、植栽で緑を沢山にして欲しい。
	歩道は広く平にする。
	歩道の段差は車椅子でもスムーズに動けるように。
	街路樹はかならず植えてください
	桜並木やいちよう並木などの並木のある沿道。
	緑豊かな自然環境形成
	・緑地、公園を確保し住民の憩いの場に。(特に26号線西側に必要) ・子供が地元で動植物を観察できる街に。
	人と緑が共生する環境に優しい道路
	世田谷区は都心でも公園面積が広く、特に代沢地区は緑道や公園、学校に囲まれ閑静で自然環境に恵まれています。その持ち味を生かし、車中心ではなく、人と自然が共生する全国の先行事例となるような道創りを目指して頂きたいと思います。具体的には北沢緑道から東大生産研、幡ヶ谷緑道までの南北方向と池ノ上駅から井の頭線側道、駒場野公園に抜ける東西方向に広い歩道を作り、東西南北に続く緑の回廊にします。車が隠れるくらいに沢山の植栽を道路脇に植えて高齢者や学生が安心して行き交うことが出来る緑道エリアにします。環境負荷を考慮した、次世代の街作りのモデルとなるような設計をお願いします。高研通りは歩道が斜めになっている所があり、自転車も歩く人も車椅子も歩きにくく危なくて研究所の中を歩かせていただいています。車の通行をスムーズにするため、危険を防ぐためにもサイクリングロードを作る。都営住宅、東大先端研の敷地にある大木が伐採されてしまうのは残念です。このエリアから駒場にかけてはコゲラなど野鳥も多く、緑がヒートアイランドの緩和にも役立っていると思います。緑被率の維持、向上をお願いしたいです。
抜け道の対策	
住宅街に通過車の抜け道ルートができないようにしてほしいです。	
無電柱化	
無電柱化や植栽による美しい都市景観創出。	
電柱は地下へ。	
防犯カメラ	
防犯カメラを一定間隔で設置する。	
掘割上空部分を活用してほしい	
大橋ジャンクションの天空公園のように掘割の上空部分を図書館などの建設も含めた緑多い公園にしてほしい。	
その他	
国有地の活用	
線路南側の国有地は坂の上のため、歩行者は休憩したくなるので、一休みできる緑の公園にしていただきたいと思います。	
旧国家公務員の土地を有効利用していただきたい。公園として皆で集まったり安全に遊べる場所、緑がある場所として欲しい。	
周辺地域の改善も含めて街づくりを検討してほしい	
京王とコラボして池ノ上駅までの道なども含めて大きな視点で計画を作ってほしい。	

●第1回～第4回『補助26号線沿道地区街づくり懇談会』と『街づくりアンケート』でいただいた主なご意見

	現状の魅力・問題認識	沿道地区の将来の姿（将来像）について	沿道地区の将来の街並みについて
沿道地区の街づくりについて	現状の魅力 <ul style="list-style-type: none"> この街の魅力は閑静な低層住宅街である。 長期にわたり維持してきた静穏な住宅地。 静かな住宅街。 近くにコンビニ等があり便利である。 大学等、公共性の高い場所が多い。 現在の道路状況で、とても利便性があり生活のしやすい環境である。 車の通り抜けが少なく静かで歩きやすい。 池ノ上駅に近く交通アクセスがよいのに静かである。 ゆったりとした街並み。 陽当たりが良く、緑の多い低層住宅街、絶対に守るべき。 自然も多く残っており空気も良い。 池ノ上駅に近く商業地としても、立地的価値が高い。 東京大学西側の崖の景観（桜や鶯が見られる環境）が魅力そのものである。 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●静かで良好な住環境の維持について <ul style="list-style-type: none"> 現状より静かに保たれるようにしてほしい。 今までどおり静かな住宅街であってほしい。 渋谷や三軒茶屋など、近くに賑やかな街はあるので、この街は静かさを大切にしたい。 自動車の通り抜けの少ない静かな街であると良い。 ●誰にも優しい住みやすい街づくりについて <ul style="list-style-type: none"> 高齢者に優しい街づくり。高齢者が元気に活動できる街。 高齢化に対応した住環境を整備する。 住民の“住みやすい街”をめざしてほしい。 身近な場所でショッピングや食事ができると良い。 次の世代に、美しく楽しい街を残したい。 高齢者だけでなく、若い世代も住み子どもの声が聞こえる、活気のある街になると良い。 子育てがしやすい街に。 子どもや高齢者、車いすが通行しやすい環境をつくる。 住民がこの街に住み続けられるような施策を望む。 ●豊かな自然や緑豊かな環境について <ul style="list-style-type: none"> 豊かな自然を楽しめる街へ。自然環境を維持する。 世田谷の街として、緑が多く、ごみごみとしていない外観を維持したい。 陽当たりの良い緑の多い街を絶対に守るべき。 緑が豊かで空気も良い、現在の環境の維持。 街路樹や植栽の美しい、緑あふれる街。 環境負荷を考慮した、次世代のモデルとなる街づくり。 ●防災まちづくりについて <ul style="list-style-type: none"> 防災まちづくりをめざしてきたい。災害に強い街へ。 特に防災面で、安全・安心に暮らせる街づくり。 延焼遮断帯の形成を早期に実現する。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> 沿道（線）と後背の住宅地（面）のバランスが良い街。 懇談や憩いのための場がもっとあると良い。 <p style="text-align: right;">など</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ●街並み形成のルール全般について <ul style="list-style-type: none"> 住環境を保つため、現状維持とすべき。 住環境が守られる程度の変更を望む。 生活を継続するため、少しでも広く家を建替えられるようルールを緩和してほしい。 耐火性の高い多用途のマンションが建つ程度まで緩和してほしい。 掘割部分の多い道路の沿道で、用途地域の変更等を行う必要性が分からない。 用途地域の変更や高さ制限を緩和すると、街並みが変わってしまう。 用途地域や地区計画等の仕組みについて、具体的に理解して議論したい。 用途地域の変更と地区計画は必要である。計画があれば早急にしめしてほしい。 沿道住民が建て替えしやすいように、用途地域を変更してほしい。 ●建物高さについて <ul style="list-style-type: none"> 建物高さは現状の高さ制限（10メートル）を緩めずに維持したい。 高さ制限は絶対に緩めないでほしい。周囲に与える圧迫感や日照の影響が心配。 建物高さは緩和しても良いと思う。用途地域を変更して高さ制限を緩和してほしい。 ●建物用途について <ul style="list-style-type: none"> 現在の住宅地を維持したい。コンビニの建設などを行うべきではない。 新たな若い世代を受け入れられるマンションや二世帯住宅があると良い。 住宅以外にも、様々な用途の建物ができると良い（日用品の店舗、コンビニ、カフェ、レストラン、保育施設、介護施設、図書館など）。 道路構造が特殊なので、店舗は立地しにくいのではないかと心配。空き店舗化も心配。 交差点付近等、道路付きの良い部分のみ店舗の立地を認めるのはどうか。 ●建物等の構造について <ul style="list-style-type: none"> 建物の不燃化を推進する。 住環境が守られる範囲で、堅ろうな建物が建つようにする。 災害時に備え、コンクリートブロック、フェンスの高さを制限する。 <p style="text-align: right;">など</p>
		問題認識 <ul style="list-style-type: none"> ●居住意向について <ul style="list-style-type: none"> 今の近くに住みたい。住み続けたい。 ●生活環境について <ul style="list-style-type: none"> 坂などがあり、高齢者が移動しにくい。 周辺には公園が数多く立地しているが、駐車場が少なく、利便性に欠ける。 ●災害について <ul style="list-style-type: none"> 谷地のところでの延焼が心配である。 道路が狭く、緊急車両の通行や避難の面が心配である。 高低差があるため水害が心配である。 歴史的に水が出やすい地域である。 ●交通の安全について <ul style="list-style-type: none"> 狭い道路を多くの車や自転車が走り危険である。 <p style="text-align: right;">など</p> 	<p style="text-align: center;">その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ●緑化 <ul style="list-style-type: none"> 住宅や街路、公園などの一層の緑化を推進する。 緑地や公園を確保して、住民の憩いの場にする。 ●国有地の活用 <ul style="list-style-type: none"> 国有地を活用して、立退きが必要な人の代替住宅や小さな図書館、憩いの場となる公園をつくるのはどうか。また、防災空地としての役割を持たせるのはどうか。 ●残地の活用 <ul style="list-style-type: none"> 残地を活用して、代替住宅や北沢一丁目公園とつながった緑地をつくれぬか。 残地を活用して、地域で育てる花壇をつくるのはどうか。 <p style="text-align: right;">など</p>

●補助26号線の東西方向の往来（横断）について

- ・掘割部分が多いため横断歩道や渡し、歩道橋など、東西の横断ルートの確保が重要な課題である。
- ・横断歩道を設け地域の分断を最小限にすべき。
- ・補助26号線の通学路部分において、歩行者の安全性は確保されるのか。
- ・緊急車両が補助26号線を横断するのに遠回りになるのではないか。
- ・周辺利用者の安全や避難経路を確保し、道路整備後も移動の利便性を確保するため、次のような場所で補助26号線を横断できるようにしてほしい。（[別紙：意見まとめマップ]参照）
 - ・三角橋交差点付近
 - ・東京大学西側の出入口付近
 - ・京王井の頭線南側の掘割部分
 - ・都営代沢一丁目アパート北西側部分、南西側部分

●補助26号線の道路構造について

- ・東京大学西側に想定されている擁壁を緑化するなどして、圧迫感を軽減できないか。
- ・アンダーパス部分において大雨時に冠水が発生しないか心配。十分な排水処理を検討してほしい。
- ・長いアンダーパスは、治安の面でも心配である。防犯カメラを設置してほしい。
- ・アンダーパス部分は、歩道だけでも浅い部分につくり、副道との行き来をやすくしてほしい。
- ・アンダーパス付近にエレベーターを設置するなど、本線の歩道と地上部の副道とを容易に移動できるようにしてほしい。
- ・車道部分をトンネル化して、地上の生活動線から切り離せないだろうか。

●補助26号線の整備について

- ・戦後に計画された道路を、今になって整備する必要性が分からない。工事を中止してほしい。
- ・地域に必要な道路は、車を通すための道路ではなく「生活道路」である。

●生活動線について

- ・道路整備後、淡島通りへのアクセスが不便になる街区がある。
- ・道路整備後、池ノ上駅から自動車でアクセスするのが不便になる街区がある。

●生活環境について

- ・東京大学西側などの緑地について、道路整備により景観が変わってしまうことが不満である。
- ・交通量が増えることによる振動や騒音、排気ガスについて対策してほしい。特に上り坂になる部分は、自動車がエンジンをふかし騒音が大きくなるのではないか。入念に対策を考えてほしい。
- ・大きな道路ができることで、駐停車する車が多くなるのではないか。

●補助26号線と周辺市街地のすり付きについて

- ・補助26号線と周辺の道路はどのようにすり付くのか。具体的な情報を知りたい。

●工事期間中の動線について

- ・工事期間中、自家用車や緊急車両の動線はどうなるのか。移動が制限されないような対策が必要。
- ・工事車両の往来や周辺の抜け道の交通量の増加により、危険になるのではないか。
- ・騒音や振動が不安。ダンプカーの侵入経路など、工事の方法について具体的な情報を早く知りたい。
- ・工事期間が非常に長く感じる。早く完成させてほしい。

など

●歩行者優先の考え方について

- ・車中心の社会ではなく、人中心の物の考え方をしていかないといけない。
- ・車優先ではなく、歩行者優先の道路にすべきである。
- ・歩行者と自転車の利用域の分別してほしい。
- ・歩道は広く平らにし、ガードレールをしっかりとつけてほしい。
- ・車いすでも通行しやすいよう、バリアフリー化を徹底してほしい。

●街路樹等による緑化について

- ・学校もあるため、街路樹をたくさん植えて、道路を緑で覆ってほしい。
- ・街路樹や花壇を設置してほしい。
- ・東京大学の敷地内にある桜や、富士中学校のシンボルであるオリーブなど、地域にゆかりのある街路樹を植えるのはどうか。地域の思い出になっている古い樹もたくさんある。
- ・掘割道路の上部に蓋をかけて、魅力ある公園にするのはどうか。

●電線類の地下化について

- ・電線類を地中化し、道路の緑化とあわせて美しい景観を創出してほしい。

●補助26号線周辺の道路について

- ・現在幅員が狭い京王井の頭線南側の道路について拡幅整備してほしい。
- ・その他、狭い周辺道路を拡幅してほしい。
- ・都営代沢一丁目アパート前の副道から淡島通りまで直接アクセスできる、バリアフリー対応の通路を整備してほしい。
- ・現在階段になっている部分を、自動車が通行できるように再整備してほしい。
- ・補助26号線と周辺をつなぐ緑の回廊を整備し、人と自然が共生する、全国の先進事例となるような道路にしてほしい。
- ・周辺道路も含め、電線類を地中化してほしい。

●周辺地域の交通環境について

- ・現状の交通環境に満足している。あえて補助26号線から自動車が流入しないような対策を講じてほしい。（京王井の頭線北側）
- ・抜け道になり交通量が増加する道路もあると考えられる。既存の周辺道路にも配慮した計画にしてほしい。（京王井の頭線南側）
- ・周辺の住宅街が抜け道として利用されないようにしてほしい。

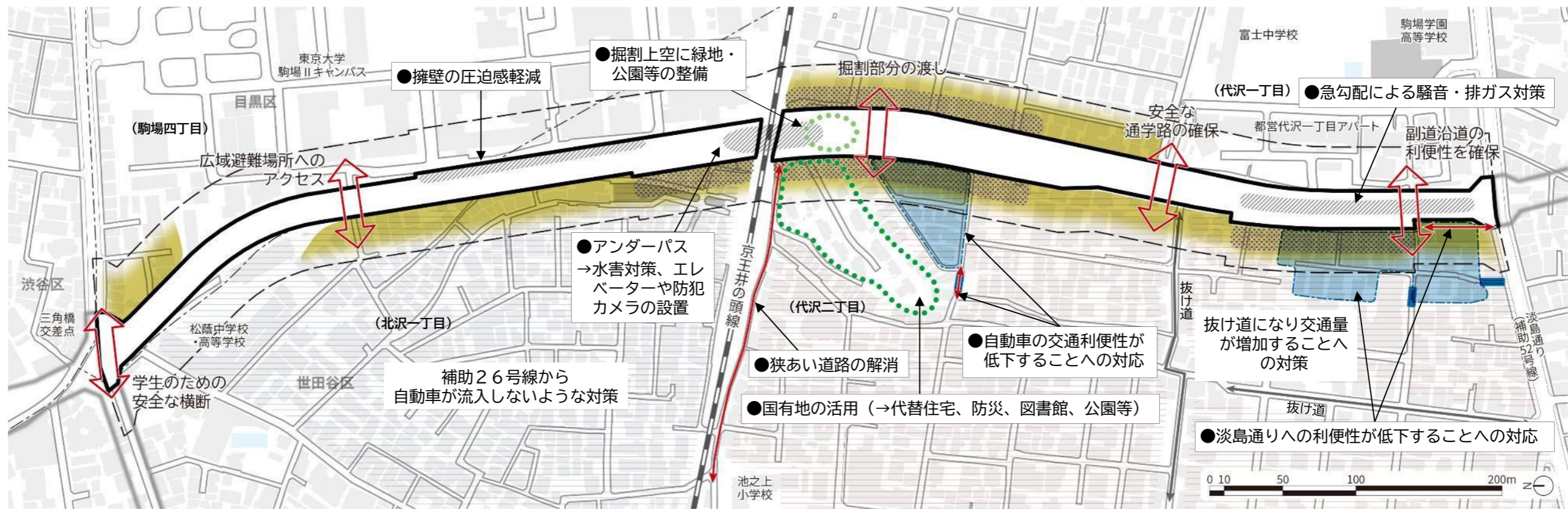
●その他

- ・補助26号線の整備に合わせて、バス路線が通るようにしてほしい。
- ・緊急車両が通行しやすくなることは良い。
- ・掘割の工事を行う際、水が出ないか心配である。
- ・道路が整備されることで、文教施設や公園などが利用しやすくなると思う。

など

別紙：意見まとめマップ

沿道地区の将来の姿（将来像）		沿道地区の将来の街並み		
<ul style="list-style-type: none"> ●静かで良好な住環境の維持 ●子どもから高齢者まで住みやすい ●住み続けたい 	<ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然 ●環境負荷への配慮 ●防災面の安全・安心 ●歩行環境の安全・安心 	建物の用途について <ul style="list-style-type: none"> ●住宅地のままが良い ●新たな若い世代を受け入れられるマンション等 ●日用品の店舗、コンビニ ●保育施設、介護施設 	建物の高さについて <ul style="list-style-type: none"> ●現状維持を望む ●圧迫感や日照の影響が心配 ●緩和しても良い 	全般的な街並みのルールについて <ul style="list-style-type: none"> ●住環境を保つため、現状維持 ●住環境が守られる程度の変更 ●生活継続のため緩和
<ul style="list-style-type: none"> ●防災性向上のため変更 ●変更の必要性が疑問 ●制度を理解して議論したい 	掘割部分や副道沿道の街並み <ul style="list-style-type: none"> ●下図 掘割部分や副道沿道の街並み ・道路構造が特殊なため通行量が少なくなるのでは。特に店舗が立地しにくいのではないか。 ・この部分では、建物用途や建物高さの制限を現状維持できないか。 			京王井の頭線南側の街並み <ul style="list-style-type: none"> ●下図 京王井の頭線南側の街並み ・交差点付近など、道路付けの良い場所のみ店舗の立地を認めるのはどうか。



道路整備における問題・課題認識		道路整備を契機とした周辺における希望	道路整備にあたっての問題・課題、道路整備や沿道街づくりを通じた地域に対する希望
整備後の道路 <ul style="list-style-type: none"> ●東西の横断の確保 ●安全な避難経路の確保 ●生活動線の変化への対応 ●街路樹等による道路の緑化 ●誰もが安全に通行できる 	工事期間中 <ul style="list-style-type: none"> ●騒音・振動・排気ガス等への対策 ●電線類地中化 ●水害対策 ●駐停車増加への対策 ●周辺道路とのすり付き 	<ul style="list-style-type: none"> ●周辺の狭あい道路の解消 ●周辺道路の電線類地中化 ●残地の活用 (代替住宅や緑地・花壇) ●バス路線の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 補助26号線の横断について 補助26号線整備について (上記以外) その他の道路等の整備について 副道の整備により予想される交通利便性の低下について 周辺敷地の活用について 掘割上空の活用について 京王井の頭線北側の交通環境について 京王井の頭線南側の交通環境について

